

エコパーク冒険遊び場へ行くにはQRコードを  
スキャンするか、



地図をご覧ください。



# ベトナム初の冒険遊び場 ～日本からの道のり～



Grant: The Japan Foundation Asia Center  
Grant Program for Promotion of Cultural Collaboration



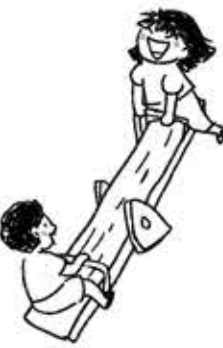
Japan Adventure  
Playground Association



住民の会



自由に遊んでね



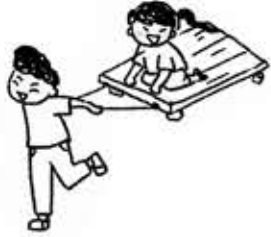
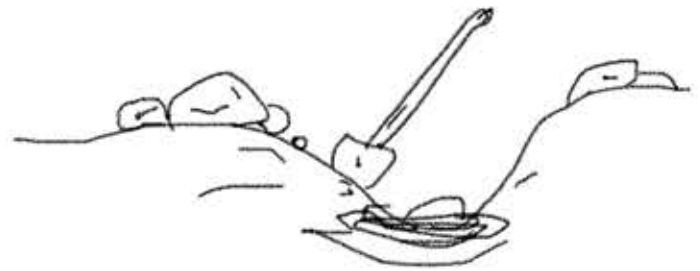
プレイワーカーは、冒険遊び場では子どもたちの友だちのような存在だよ。



冒険遊び場は (i) 子どもが作ることができる、(ii) 入場料はからない、(iii) 地域の参加型、を大切にしています



子どもの時に遊んだ思い出は、ずっと忘れないよ。



わたしのなまえ:

.....

わたしは、

.....と

.....と

.....をしてあそぶのが好きです

わたしは、

.....

と.....

と.....

といっしょにあそぶのが好きです

# ベトナム初の冒険遊び場 ～日本からの道のり～



たくさん色を  
ぬると、きれいな本が  
できるよ!

ASIA  
center

Grant: The Japan Foundation Asia Center  
Grant Program for Promotion of Cultural Collaboration



ecopark®



Japan Adventure  
Playground Association

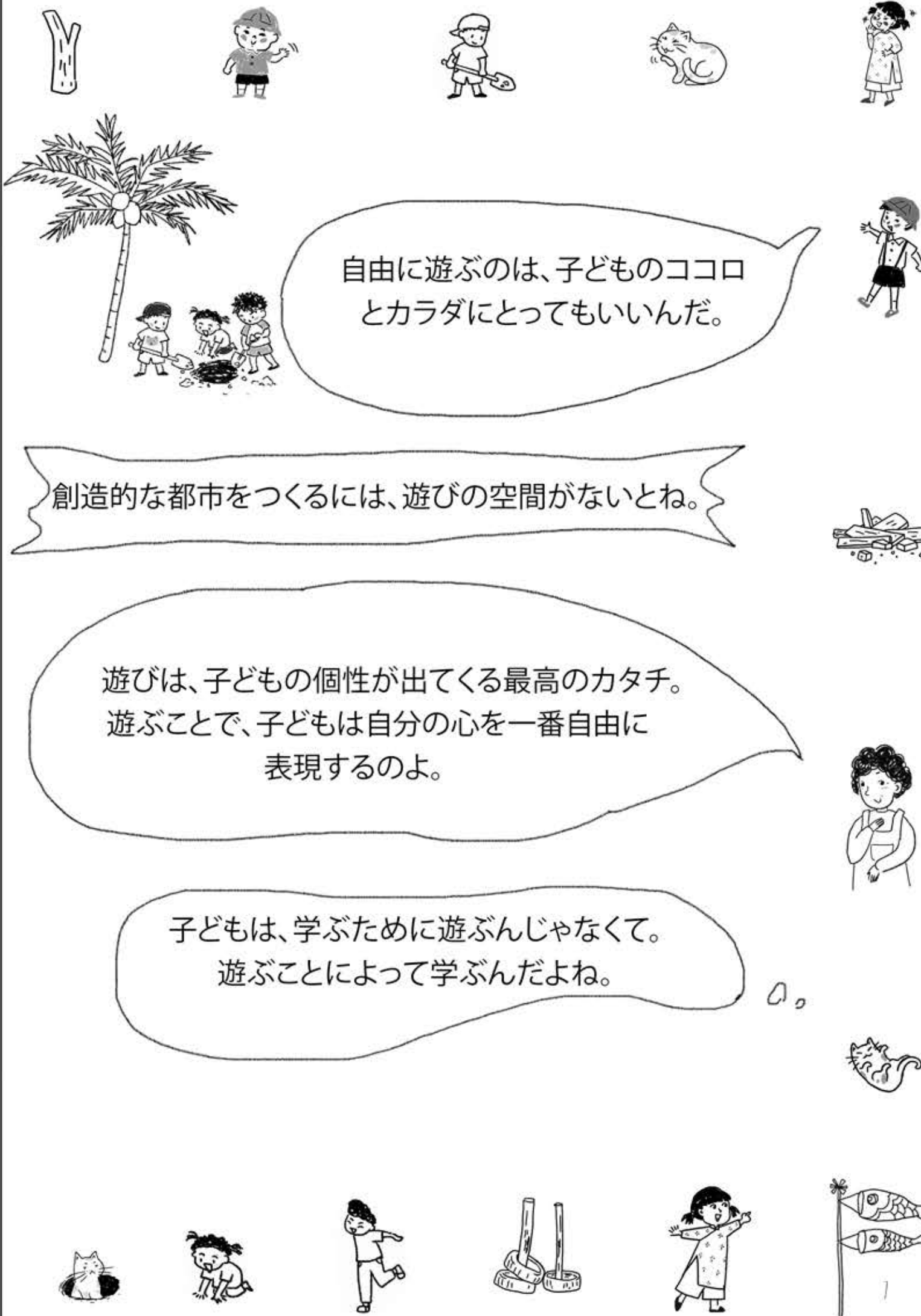


THINK PLAYGROUNDS!

住民の会

# 目次

冒険とは? .....	8
都市の子どもたちには冒険遊びが必要 .....	13
冒険遊び場の歴史 .....	14
プレイワーカーについて .....	17
ベトナムでの冒険遊び場づくり .....	18
エコパーク冒険遊び場・最初の日 .....	24
シウの話 .....	28
冒険遊び場をいっしょに支えてください .....	29
パートナーの紹介 .....	30



自由に遊ぶのは、子どものココロとカラダにとってもいいんだ。

創造的な都市をつくるには、遊びの空間がないとね。

遊びは、子どもの個性が出てくる最高のカタチ。遊ぶことで、子どもは自分の心を一番自由に表現するのよ。

子どもは、学ぶために遊ぶんじゃなくて。遊ぶことによって学んだよね。

# 冒険とは？

その昔...自然環境そのものがすばらしい遊びの空間だったときには、ただ屋外に居ること自体が冒険でした！



木登りできる木もたくさん



田んぼで友だちと遊んだり



川や池ではいつでも泳ぐことができました



さつまいもを焼くのが、みんなのお気に入り



# 冒険とは、新しいものを発見すること！



穴に水を入れたら、船を浮かべられるね！



粘土は、どんな形にもなるし、一日中遊べる！

このリヤカー、早いなあ。しかも3人も乗れる！



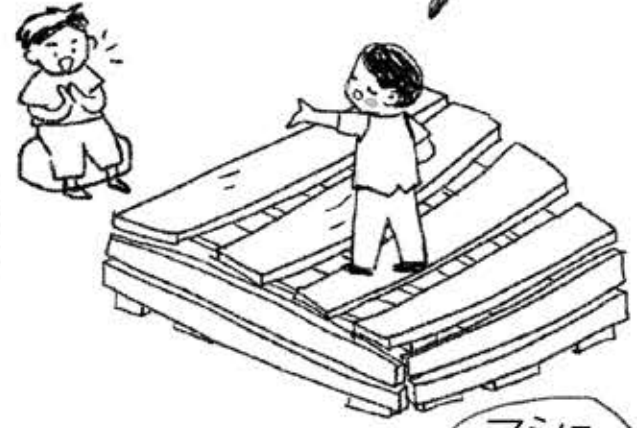
この階段長いけど、上まで登るぞ！



あ、粘土がある。焼いてみようよ！



すごーい！



マシュマロって、焼き過ぎると燃えるんだよ！

でも... 冒険遊びは危ないじゃないですか!!!



心配ないニャ!



転ぶことは、すべての子どもが歩き方や走り方を学ぶために必要な経験です。



冒険的に子どもを遊ばせられれば、子どもは必要なものを自ら学ぶようになります。言い換えれば、自分でリスクを管理できるようにもなります。



火の上を飛び越えるのも、心を刺激する挑戦になります。



鉄棒で逆さまになるのだから、健康にいいんだから!

子どもたちの好きな遊び:

- 高い所から飛ぶ → リヤカー遊び
- かけっこ → かくれんぼ
- 大人の道具を使ってみる

(ククック・カルチュール(ドイツ)による冒険遊び場のプレゼンから)

子どもたちには、  
自由な遊びが必要です!



自由な遊びから得られるもの:

- ① 社会性の発達: 共感したり、協力したり、自分の行動をコントロールできるようになります。
- ② 身体の発達: ストレスやプレッシャーに対する抵抗力や、危険から自分の身体を守る力がつき、健康な身体づくりにつながります。
- ③ 認知の発達: 読み書きや科学的、数学的な力にもつながります。
- ④ 創造性の発達: 好奇心や想像力、柔軟性を育て、個性の確立につながります。
- ⑤ 情緒の発達: 怒りやストレスをコントロールしたり、気持ちを切り替えたりできるようになります。

知っていましたか? 日本では、子どもたちが自由に遊ぶ時間が不足し、大きなストレスを抱えている結果、次のような問題が起きています:



- » 高い自殺率
- » 学校での暴力といじめ問題
- » 若者の引きこもり

(TOKYO PLAY による冒険遊び場のプレゼンから)

ハノイもベトナムの他の都市と同じく、遊び場が不足しています!



公園と緑面積は 1.72m<sup>2</sup>/人 しかありません。

遊び場が少ないということが、都市の子どもがたくさん勉強をしなければならないことにもつながっているニャ...



グエン・ティ・ヒエンさん (都市生活者)

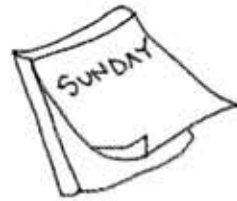
学校での勉強



家での宿題



週末の補習



夏休みの絵画教室

ピアノ教室

ダンス教室

歌のレッスン

スイミングスクール

算数の勉強

習字

コミュニケーション

英語

勉強...もっと勉強...ずっと勉強



たいへん! 冒険遊び場のような場所をつくって、子どもが自由に遊べるようにしないと。



嶋村仁志氏 (TOKYO PLAY)

グエン・ティウ・クオック・ダットさん (Think Playgrounds)

# 都市の子どもたちには、冒険遊び場が必要です!



ここでは、学校では禁止されているたくさんの遊びを子どもができるようにしています。でも、こうした遊びは、おじいちゃん、おばあちゃんのころは誰もがやっていた遊びでした。思い出せますか?



高いところへの登り降り

木工作



鍋で料理



たき火



穴掘り

泥遊び

## 冒険遊び場の歴史



冒険遊び場は、1943年にデンマークで生まれ、当時は「廃材遊び場」と呼ばれていました。そして、1950-1980年代を通じて、冒険遊び場はイギリス、ドイツ、スイスなどに広がっていきました。

…日本で取り組みが始まったのは、1975年のことです。



現在、世界には約**1000**か所の冒険遊び場があります。日本だけでも400以上の取り組みがあります。

また、香港、韓国などアジアの国でも冒険遊び場のプロジェクトが開始されています。そして今、ベトナムでその動きが始まっています！

エコパーク冒険遊び場は、一般社団法人TOKYO PLAYの指導の下、Think playgroundsとEcoparkによるデザインで作られ、運営されています。

これが、ベトナムにおける最初の冒険遊び場になります。この遊び場では、日本の冒険遊び場でも採用されている3つの原則を大切にしています：(1)子どもが作ることができる；(2)入場料がかからない；(3)コミュニティの参加があることです。



品川冒険ひろば(品川区)



こどもの森(練馬区)

現在、日本には400を超える冒険遊び場の取り組みがあります。



こどもの森(練馬区)

東京都世田谷区では、支所ごとに少なくとも1つの冒険遊び場があるように取り決められています。

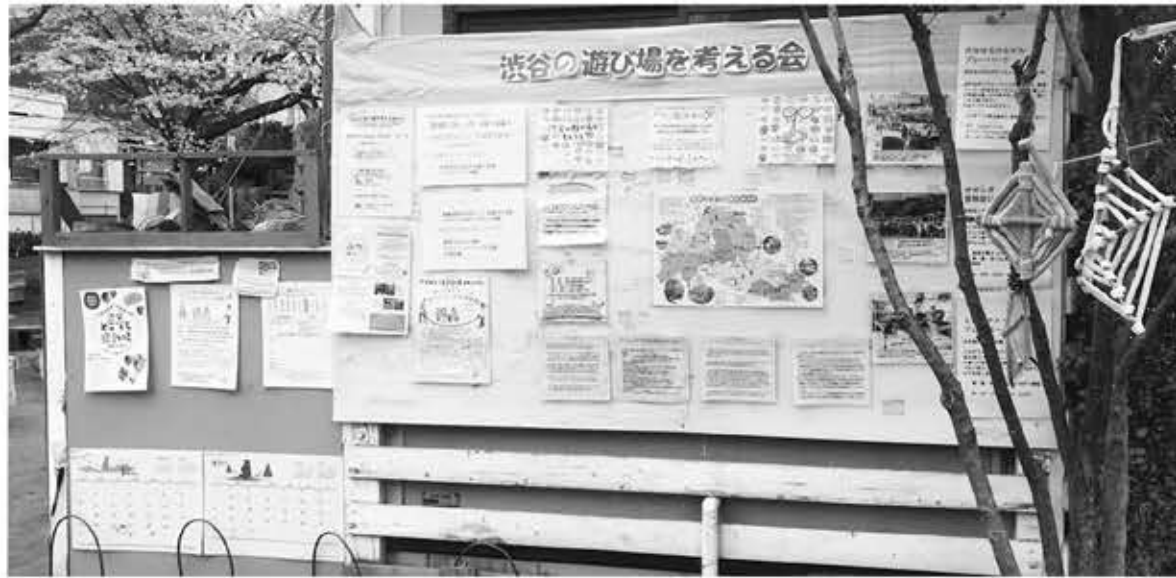


羽根木プレーパーク(世田谷区)

私たちの見学した冒険遊び場もすべて無料で、地域住民やNPOによって運営されていました。



プレイワーカーは、保護者の人たちと共に遊び場を見守り、時間をかけて遊び場を育てていきます。



リーフレットには、保護者向けの情報として、遊びの大切さやプレイワーカーの役割、遊び場の開園時間などが書かれています。

## プレイワーカーについて



冒険遊び場では、プレイワーカーは子どもたちの友だちのような役割をします。

プレイワーカーは、子どもたちは何をどのようにして遊びたいのかを自分でコントロールできると考えています。自由に遊ぶことが許されれば、子どもたちは自分の創造性を最大限に発揮します。

プレイワーカーは、子どもたちの力を信じ、子どもたちの育ちと学びのプロセスを見守れるように、専門的にトレーニングを受けています。



...プレイワーカーは、子どもが自分で解決できる問題に介入しません...プレイワーカーは、よく観察し、話し、聴き、サポートします...そして、安全で親しみのある環境づくりをします...



...子どもたちが、自分の生きている世界を発見できるように。

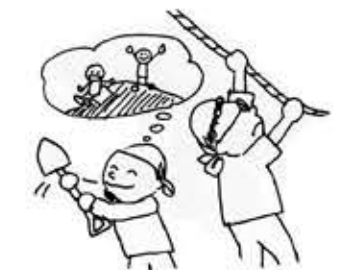
プレイワーカーはこんな人です



子どもと遊ぶことも



よく子どもとも話します



遊び場の安全確認

たいていの冒険遊び場には、プレイワーカーが2~3人いて、子どもたちが楽しく安全に遊ぶことができるようにしています。

プレイワーカーの仕事は、次々とやってくる子どもたちの要望に対応するため、想像以上に大変な仕事です。みなさんにとっては、一人の子を一時間世話するのも大変かもしれません。けれども、プレイワーカーは晴れていても雨が降っていても、つねに20~30人の子どもたちの相手をしているのです。それが、どのくらい大変かを想像してみてください。

プレイワーカーは、健康であるのはもちろんのこと、多くのスキルと高い責任感が必要になります。

# これまでに...

Think Playgroundsでは、日本の遊び場をモデルにして、ベトナムで遊び場づくりを始めました。



チュ・ティ・キム・ダックさん  
(Think Playgrounds創業者)

## エコパークでの冒険遊び場づくり



## 現地調査

ここはいい場所だね。広くて、木もたくさんあるし。

もう若芽は出ないけど、まだ子たちの役に立てるかな。

土がやわらかいか、うちの子も好きなだけ穴が掘れそう。



## 地域ミーティング

神林さんは、子どもたちから大人気。

わあい！遊び場ができるんだね！

いいですね！たき火や水遊びはできるようにしないと。



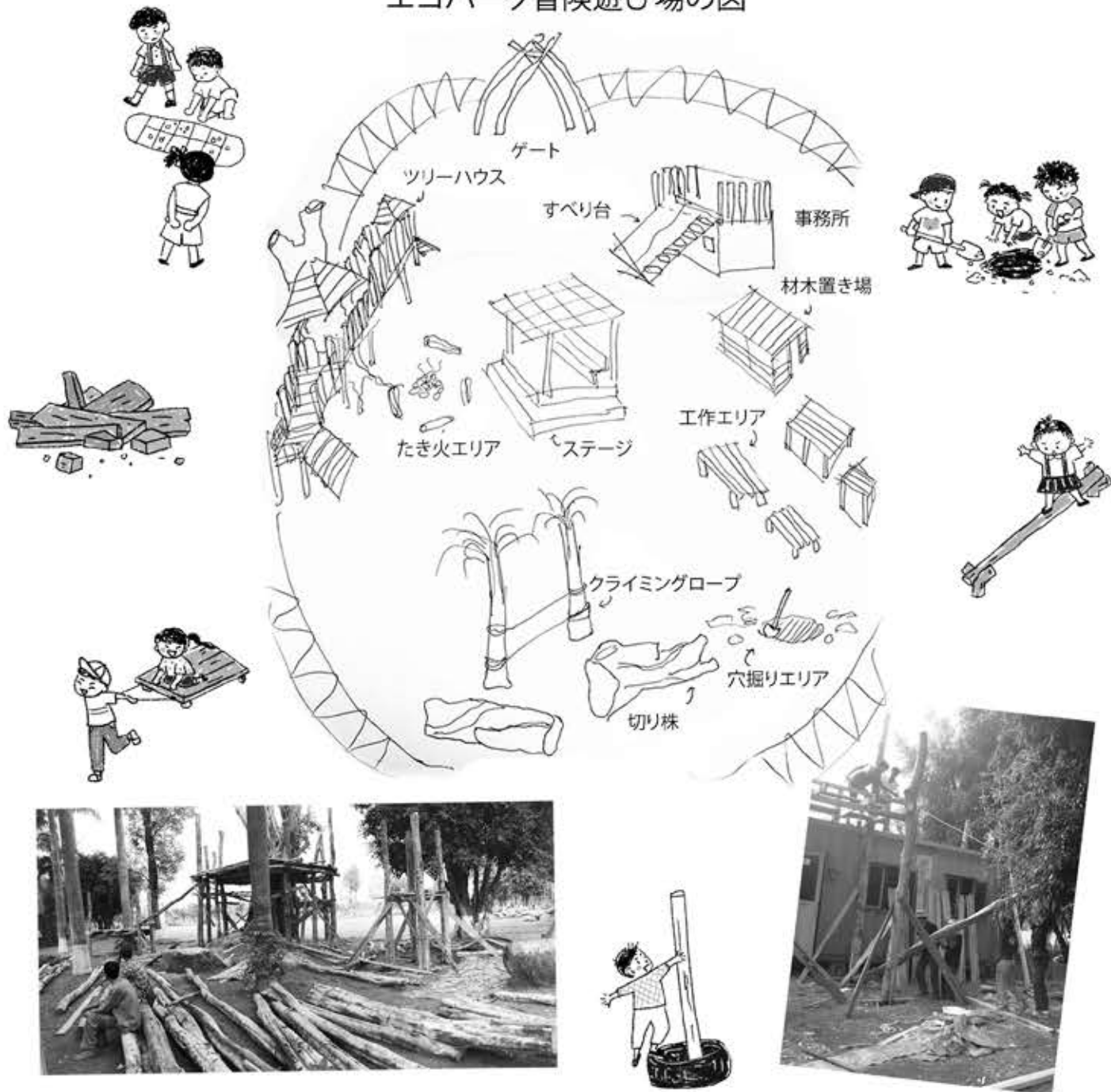
冒険遊び場のアイデアは、地域の人たちに快く受け入れられました。

# 設計 & 施工

この遊び場の設計と施工には、3ヶ月かかったね。



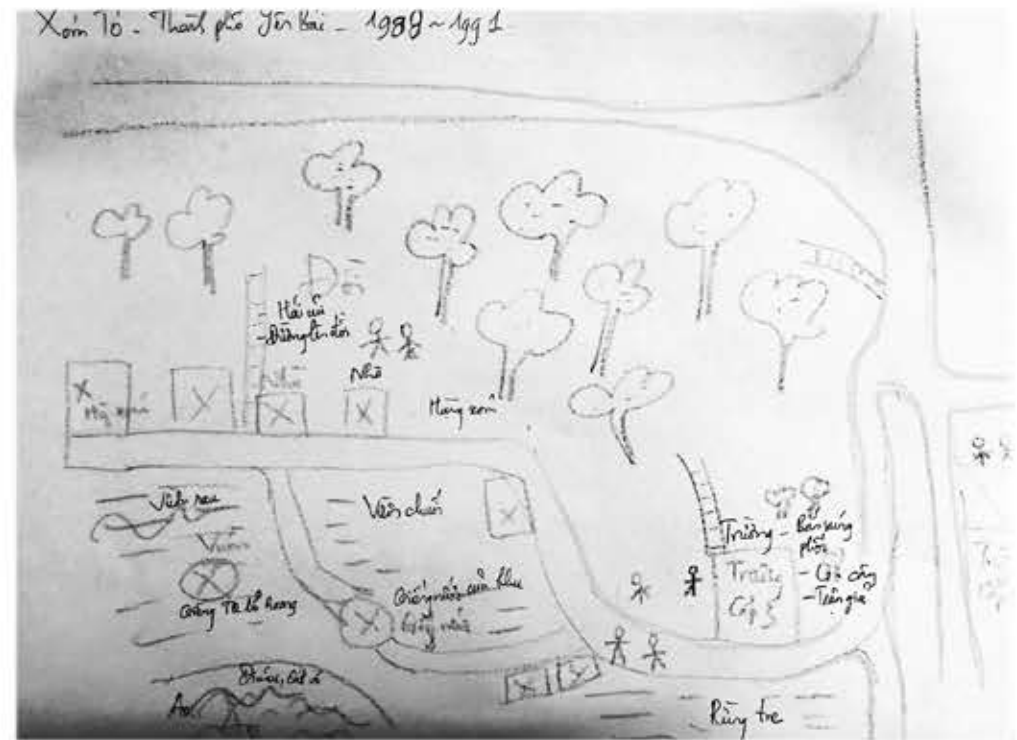
エコパーク冒険遊び場の図



# ワークショップ「プレイヤーになるために」



たくさんのゲームをしながら子ども時代を思い出しながら、子どもを理解できるようになってきました。



子ども時代の遊び地図

## たくさんの保護者やボランティアで遊び場の看板やリーフレットを作りました



いつも、一番熱心だったのは、子どもたちでした。



★ エコパークに住むタム・リンちゃんが、冒険遊び場のリーフレットのイラストを描いてくれました。

## イベント「みんなでいっしょに遊び場づくり」

### 遊びの役目



子どもたちには、自由な遊びがとても大切です。なぜだと思いますか？

なぜなら



子どもがしたいことができるからです



友だちと遊んでたのしくすごせるからです  
競争させられないからです



成功や勝ち負けを求められないからです  
大人から成功や勝利を求められません



だから、みんなが楽しく過ごすことができます  
遊んでいるときの楽しい思い出は、ずっと残ります



自由に遊ぶ経験があるほど、子どもの心と身体は安定することが科学的にも証明されています。

この遊び場には、「3つの自由」があります。



子どもが何をするかを自由に選べます。



お金がかからず自由に入園できます。



来る時間も変える時間も自由に決められます。



子どもがもっと自由に遊べるようにするためにも、このメッセージをたくさんの人に伝えていきたいニャ。



# エコパーク冒険遊び場・最初の日



遊ぼう!!!!



## シウの話

開園前日、シウはシャベルを使って、昼から夕方まで大きな穴を掘っていました。そして、「穴掘りエリア」の看板を作ったのです。



けれども、遊び場が開園した日、シウは自分で掘った穴が

大切で、看板には「立ち入り禁

止」と書いていたのです。シウ

の母はそのことに反対して、消すように提案しますが、シウは怒って、おがくずでその穴を埋めてしまいました。母が嶋村さんにその話をすると、「がんばって掘っていた穴だから、誰も入れたくないとシウが思った自然な気持ちは大切にしないとね」と話していました。



シウは不機嫌になって、たき火

エリアに行っていました。

そして、案内を読みながらたき

木を取りに行き、チャンさんに

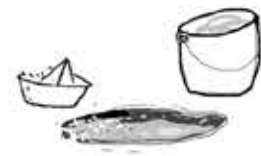
火をつけるのを手伝ってもら

っていました。シウの気持ちは、

また明るくなったようにも見え



シウが穴掘りエリアに戻ると、別の誰かが給水栓がないかと聞いているところでした。しばらくして水が出始めると、あたり一面が水浸しになり、穴も水でいっぱいになりました。すると、そこにいた子どもたちで「チョコレート」をつくって遊び始めたのです。その日の最後には、子どもたちがその「チョコレート」をカップに入れ、壊れた炊飯器の中に置き、手押し車で遊び場中を運び、売って歩いていました。シウにとっても、冒険遊び場での一日はステキな日になりました。



お母さん、  
また冒険遊び場に戻って  
くるのはいつ?



7歳のミウくん



10歳のトゥ・チャウちゃん

明日  
もあさっても  
来ます。この遊び  
場、大好き。



### 冒険遊び場

では子どもたちが本物の鍋や  
フライパンを自由に使って料理  
ができるんですよ。私は、葉  
っぱと木の皮でできたカニス  
ープを勧められました  
よ。

すべり台  
で遊びたいです。ここなら一日中  
遊べますよね。でも、子どもたちはまだ親  
から教えられ過ぎかな。子どもたちをもっ  
と開放してもいいと思います。



ヴァー・シュアン・ヒウさん  
(バク・ニン在住)



ニー・ドアンさん  
(ボランティア)



ハノイは遊び場が  
少なく、遊び場のつくりも単調なので、魅  
力的ではありません。それに対して、冒険遊び場  
は子どもの創造力を引き出し、子どもたちが自分  
で作っていくことができる魅力があります。ものづ  
くりから遊び方まで、この遊び場は独特な要素が  
あります。子どもたちは、ここでたくさんのことを  
発見できると思います。



チャン・ファイ・アインさん  
(建築家)



レ・ハ・クエさん  
(EcoPM社長)

冒険遊び場は、エコパークに暮らす人た  
ちの完璧な居住空間づくりにつながってい  
ると考えています。思い出に残る子ど  
も時代と、五感を呼び覚ます自然と  
のふれあいが子どもたちに提供で  
きますね。



Think Playgrounds  
のみなさん。すばらし  
い冒険遊び場ができ  
て、感動しています。  
このモデルがベトナム  
で広がっていくこと  
を期待しています。



鎌上茂樹さん

とても  
楽しいですね。たき火な  
んてできないと思っていた  
のに。



5歳の子のお母さん  
(エコパーク在住)



家では、  
親は仕事をする間、子  
どもにiPadを貸してしま  
います。でも、ここでは  
子どもと一緒に遊びな  
がら、子どもに教える  
こともできるのがい  
いですね。



グエン・バー・フンさん  
(ハ・ドン在住)

この遊び場で  
遊ぶことで、既存の遊具  
よりも、子どもは創造力を  
発揮していくのではない  
でしょうか。子どもたちが  
さまざまなものを創り出し  
、いろんな力を身に付けて  
いくことにつながってい  
ると思います。



ファン・テュイ・チャンさん  
(ボランティア)

うちの  
子どもには、とてもよ  
い遊び場ですね!毎日学校  
で勉強しているので、夕方に  
少しだけ行っていますが、こ  
こは単に遊ぶための所だけ  
ではなく、たくさんの発見  
があったり、自分の勇気  
を試したりできるの  
もよいですね。



グエン・ソン・テュンさん  
(カウ・ギアイ在住)



## 冒険遊び場をいっしょに支えて ください!

- ★ 中古のものや、使わない材木があれば、遊び場に寄付してください。
- ★ Sân chơi phiêu lưu cộng đồng Ecopark「エコパーク冒険遊び場」のFacebookページに登録して、情報をシェアしてください。
- ★ プレイワーカーへのサポートを通して、子どもたちが自由に遊べる空間を作れませんか。
- ★ 冒険遊び場のイベントに参加してみませんか。
- ★ Facebookページ TNV sân chơi phiêu lưu cộng đồng Ecopark「エコパーク冒険遊び場ボランティア」を通じて、遊び場のボランティア活動に参加できます。
- ★★★ ぜひ、子どもたちを遊び場に連れてきてください。



グエン・フェ・フォン

## 参加組織の紹介



Japan Foundation Asia Centerは、芸術、映像、ダンス、演劇、スポーツ分野での知的小よび人材交流を通じて、アジアの人と人とを結びつけ、ネットワークを広げていくという使命を持っています。



Ecoparkグループ:約16年間の開発期間を経て、エコパークはベトナムの最も暮らしやすい都市として、「緑の不動産開発」を推進するトップランナーとして国際的にも多くの賞を受賞しています。人間味にあふれたエコな都市環境での理想的な家を持つという、長年にわたるベトナム人の夢を実現することをミッションに、Ecoparkグループは、単に住宅を提供するだけでなく、完璧な暮らしの空間を提供していきます。そして、子どもたちの自然体験と思い出に残る子ども時代を保障します。



Think Playgrounds!:コミュニティーでの遊び場の設計や施工を通じて、公共空間の発展・保護の分野で活動している社会的企業です。2014年からこれまでに全国で150以上の公共遊び場の建設を支援してきました。デンマーク大使館主催の「Green City Solutions (グリーン・シティ・ソリューション)」最優秀賞、「UNESCO Viet Nam (ユネスコ・ベトナム)」から受賞した「The Art of Recycle (リサイクル・アート)」第3位など、まちづくりに関する多くの賞を受賞しました。私たちは、子どもたちに安全な空間を提供し、子どもたちの中に美しい記憶をつくることに貢献します。詳しくは、[www.sanchoi.org](http://www.sanchoi.org)にアクセスしてください。



TOKYO PLAY: 2010年に日本で設立され、2016年に法人化した非営利組織です。「すべての子どもが豊かに遊べる東京」をコンセプトに、子どもの自由な遊びを広げる様々なプロジェクトを行っています。イギリスのLondon Playと「ロンドンー東京 遊びの姉妹都市提携」を結んでいるほか、アジアでは香港、台湾など海外の組織ともネットワークを広げています。



日本冒険遊び場づくり協会は、IPA(子どもの遊ぶ権利のための国際協会)日本支部の一部門として設立された冒険遊び場情報室を前身とし、2003年にNPO法人として設立しました。「遊び あふれる まちへ!」を合言葉に、全国で冒険遊び場づくりをしている各地の団体を支援するための活動(人材育成・講師派遣・情報発信・調査研究・コンサルティング・ネットワーキング)を行っています。

執筆:Kim Duc、嶋村仁志

ブックデザイン:Huong Giang

イラスト: Huong Giang、Kim Duc、Thu Ngan、Thien An

いくつかのイラストは、次の本から転載しました。

川崎市子ども夢パーク通信縮刷版

リーフレットは、ボランティアとプレイヤーが作成しました。

写真撮影: Think Playgrounds、TOKYO PLAY